

【第1号議案】

平成24年度事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

一般社団法人日本エスコフィエ協会

事業名	事業内容
出版	・『エスコフィエの技 現代の術』の販売を通じて若手料理人の育成を目指している。同時にエスコフィエの料理技術の保存及び技術向上も目的に。年間603冊販売（うち会員ほか一般に156冊、調理師学校に447冊販売）
会報	・エスコフィエ通信の定期発行（年4回 4、7、10、1月）を通して会員及び一般に広くフランス料理に関する情報と協会の活動内容を伝える。 ・フランスで活躍する若い日本人シェフを紹介する新たな企画を連載。各地域での会員の活動ぶりも連載している。
広報	・ホームページにフランス料理に関する情報及び協会活動を紹介している。 ・料理コンクールの開催年でもあり、速報性に努めた。日常的なアクセス数は120件/日で、コンクールの際は200件/日に上昇していた。
講習会・講演会	・6月6日にホテルオークラ東京において、フランス料理に関する講演会及び晩餐会を実施。講演者は元NHKニュースキャスターの磯村尚徳氏。協会の創立40周年を記念した晩餐会には約460名の会員、関係者が出席。 ・数年ぶりにクリスチャン・マセ仏大使も列席され、料理を通じた国際交流を評価するスピーチをいただいた。
料理フランス語通信教育	・『料理フランス語通信講座』（日仏料理協会との共催）の実施。春・秋・冬期の年3回開講。今年度受講者8名。
国際交流	・フランスのディシプル・エスコフィエ（エスコフィエ世界連盟本部）エスコフィエ財団及び諸外国のエスコフィエ協会との交流。 ・2012年6月6日 晩餐会にクリスチャン・マセ在日フランス大使ご夫妻出席。 ・2012年11月、エスコフィエ協会世界連盟会長レジス・マルコン氏ご夫妻が来日し、8日に役員による小歓迎会をホテルオークラにて開催。 ・2013年3月17～19日の3日間、ヴェニス近郊アバノで開かれたエスコフィエ世界連盟の総会に村山理事が会長代理で出席。
フランス料理勉強会	・ル・ギッド・キュリネールを柱にしたフランス基本料理の検証。 本年度は2012年11月21日22日に辻調理師専門学校にて第6回エスコフィエ・フランス料理コンクールの決勝課題「舌ビラメと鮭のターバン ソース・ノルマンド」について検証。5名の実行委員を中心に、担当役員、及びコンクール優勝者の西川仁氏が参加して行われた。 勉強会の成果は会報1月号とホームページに掲載。
フランス料理コンクール	・フランス料理の基本技術の継承と将来を担う料理人の育成を目的とする「第6回エスコフィエ・フランス料理コンクール」を開催。 後援：文部科学省、フランス共和国農水省、フランス食品振興会 ・予選書類審査 課題「ブルターニュ産パンタードの温製料理 付け合わせ3

フランス料理コンクール	種、ソースまたはジュ1種」 2012年7月4日 メゾン・オノにて。149名の応募者のうち145名のルセット提出者があり、16名の準決勝出場者を選考。 ・準決勝実技審査 予選課題をそのまま制作 2012年7月25日 東日本会場 後藤学園 武蔵野調理師専門学校 2012年7月27日 西日本会場 辻調グループ エコール辻 大阪東西の審査会場それぞれ8名の出場者から4名ずつ、計8名の決勝出場者を選考。 ・決勝実技審査 当日課題「舌ビラメと鮭のターバン ソース・ノルマンド」 2012年8月28日 食糧学院 東京調理師専門学校 8名の出場者の作品を審査。優勝は西川仁氏（ホテル阪急インターナショナル）。 ・表彰式 8月28日 ホテルオークラ東京「コンチネンタルルーム」にて開催。優勝者に文部科学大臣賞等を授与。
震災被災地支援	・6月6日の総会・晩餐会場に東日本被災地復興支援コーナーを設けて宮城県の名産品食材等を紹介。 宮城県東松島市教育委員会に20万円を寄付。 ・2012年9月24日、「大分のフランス料理を食べる会」をレンブラントホテル大分で開催。収益金の一部20万円を水害で大きな被害を受けた九州4都市に寄付。 ・2013年3月25日、被災地石巻の漁業、食品加工業、食材販売業、飲食店等の関係者を招いた食事会を石巻グランドホテルの全面協力を得て開催。当日は協会役員の当時大庭筆頭副会長、当時田中副会長、当時植植事務局長、中村理事、小石理事 がそれぞれの職場で下準備した食材を持ち寄り、豪華なメニューに仕上げた。
『母と子のキャンプ』調理指導	・（公財）徳島県母子寡婦福祉連合会が主催する母と子のキャンプで調理指導。 2012年11月3日「国立淡路青少年交流の家」にて50名が参加して開催。藤田理事を中心に、会員のホテルクレメント徳島の永畑氏、坂東氏及び事業担当の堀田副会長が指導に当たった。会報2013年1月号に詳細を掲載。
社会福祉食事会	・身体に軽い障害をお持ちの方とその介助の方を対象とした福祉食事会。「第25回 ホテルでフランス料理を楽しむ社会福祉食事会」を2013年2月18日、東京ドームホテルにて開催。 対象の方々、浅野会長（当時）を始めとする協会関係者、福祉関係者を含め68名が会食。理事である同ホテルの鎌田総料理長の手によるフルコースを堪能した。後日、数名の参加者の方から感謝の手紙が寄せられた。 後援 文京区社会福祉協議会、文京区心身障害福祉団体連合会 協力 東京ドームホテル
親睦事業	・新規入会者の受付と会員証（ディプロム、エンブレム）などの送付。 今年度入会者99名。 ・団体賛助会員である調理師学校の成績優秀生徒1名に「エスコフィエ協優秀奨励賞」のディプロムを授与。31校の生徒に授与。 ・総会当日の6月6日、ディシプル資格昇格者67名にディプロムとエシヤルプを授与。